

第24回全国青年・女性漁業者交流大会

平成31年2月28日と3月1日の2日間、東京都のホテルグランドアーク半蔵門において、JF全漁連主催の第24回全国青年・女性漁業者交流大会が開催された。

本大会は、全国の意欲ある青年・女性漁業者が漁業や加工、販売、資源管理、魚食普及、地域活性化について日頃の努力や実践活動の成果を分科会毎（5部門）に発表する趣旨である。

本県からは、第3分科会流通・消費拡大部門にて「めいつの魚ブランド化推進協議会：元浦 亮氏（もとうら まこと）」が【地域に埋もれた宝で、漁村に賑わいを】と題して発表された。

発表内容は、本県日南市南郷町の目井津港に揚がる定置獲れのアジを、鮮度管理や選別方法の改善で、特に春先から初夏にかけて県内外での評価を上げ、ブランド化（めいつ美々鱈）を確立させたことで、出荷規格をつくり単価向上を実現させたことの努力と経緯について発表され、「全国漁業協同組合連合会長賞」を受賞された。

【第3分科会 流通・消費拡大部門】

グループ名	めいつの魚ブランド化推進協議会
発表題名	地域に埋もれた宝で、漁村に賑わいを
発表者名	元浦 亮氏（もとうら まこと）
受賞名	全国漁業協同組合連合会長賞

